

## 岐阜大学のとりくみ

2008.11 ▶ 2009.03

11月

### 岐阜大学DREAM PROJECTが始動

岐阜大学では、学部生や大学院生を対象に、「環境・健康」をテーマとするアイデア募集を開始しました。これは、学生の皆さんが抱えている夢や希望を実現させる一助になればとの思いから企画したものです。応募されたアイデアは、独創性やユニーク性などの観点から審査され、最優秀賞に選ばれたものは、協力業者の研究サポートを受けながら、夢を実現にかえることができます。



11月

### 秋のクリーンキャンパスを実施

11月14日、「クリーンシティぎふの日」に合わせて「秋のクリーンキャンパス」を実施しました。キャンパス内や周辺のごみ拾いに、学生や教職員ら約650名が参加しました。

#### キャンパス内のごみ拾い

キャンパスの環境美化を目的に、キャンパス内の各所を歩いてごみ拾いを行う清掃活動を行いました。

#### 新堀川のごみ拾い

キャンパス内にとどまらず周辺環境の美化にも取り組むことを目的に、5月のクリーンキャンパスに引き続き、全学から教職員・学生が参加して、大学に接している河川(新堀川)の両岸のごみ拾いを行いました。

また、小型ボートを出して河川内のごみも拾い上げました。



11月

### 医学部がコロラド州立大学と交流協定を締結

大学院医学系研究科・医学部は、11月18日にコロラド州立大学と部局間協定を締結しました。当日は、Bill Ritter州知事、Tony Frank副学長らが来日し、森学長のほか、土肥副学長、犬塚医学系研究科長らと調印式を行いました。

この協定は、本学大学院医学系研究科・医学部とコロラド州立大学獣医学部の環境医学センターとの研究交流を目的とした協定で、大学院レベルの研究者交流と情報の共有を行い、広く環境医学、食品等の人の生活環境の国際的な枠組みの提案をしていきます。具体例としては、食の生産から製品の製造、輸出までの食の安全にかかわるすべての工程を記録し、消費者に安心と安全を与える情報供給システムを構築します。最終的には、国レベルで使用できるコロラドプロトコール(議定書)あるいは岐阜プロトコールといった議定書の提案をめざします。また、両大学の得意な分野を活用し、人の健康にかかわる環境因子の分析技術を共有して健康で安全な生活を送るための情報の収集と管理手法を構築することで、人の健康に貢献できるプログラムの作成をめざしていきます。

コロラド州立大学は、今後さらに、本学の獣医学領域および生命科学領域の広範な研究者との研究交流も促進し、最終的には大学間協定を締結できるような意義ある交流に発展させることを希望しています。



12月

### 美濃市と包括連携協定を締結

岐阜大学は12月17日、岐阜県美濃市との間で連携に関する協定を締結しました。この協定は、多様な分野で包括的に連携・協力をし、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的としています。協定の内容は次のとおりです。

1. オンリーワンのまちづくりの推進に関すること。
2. 産業の振興に関すること。
3. 安心安全な暮らしづくりの推進に関すること。
4. 地域医療の充実に関すること。
5. 教育・文化およびスポーツの振興に関すること。
6. 地域の課題解決に関すること。
7. その他連携が有効に機能するために必要なこと。

今回の協定は、平成20年1月に締結した「岐阜大学教育学部と美濃市教育委員会との連携に関する協定」を基にしたもので、本学にとって、岐阜県、大垣市、各務原市、羽島市、関市に続く6件目の包括連携協定です。

協定締結後、森学長は、「本学には、地域の発展に寄与できる多くの研究分野があります。この協定を機に、さまざまな分野で交流を深めていきたい」とあいさつしました。



2月

### 岐阜市と包括連携協定を締結

岐阜大学は2月27日、岐阜市との間で連携に関する協定を締結しました。この協定は、多様な分野で包括的に緊密な協力関係を築き、持続・発展的に連携を深めることにより、活力ある地域社会の形成・発展や未来を担う人材育成、さらに市民らの教育・文化活動など地域貢献に寄与することを目的としています。協定の内容は以下のとおりです。

1. 健康、医療および福祉の充実に関すること。
2. まちづくり、産業の活性化に関すること。
3. 教育、文化およびスポーツの振興に関すること。
4. 環境の保全に関すること。
5. 人材育成に関すること。

協定締結後、細江市長は「市の、教育にかける強い思いに力添えをいただけることに感謝している」とあいさつし、これに対して森学長は「岐阜市の発展がなければ、岐阜大学の発展はない。ともに歩み、さまざまな分野で連携を深めていきたい」と応えました。



3月

### 教育学部が神戸町教育委員会と連携協力に関する協定を締結

教育学部は3月23日、安八郡神戸町教育委員会との間で連携・協力に関する協定を締結しました。

この協定は、学校現場における課題に即した教員の養成と同町の小学校・中学校の教職員に対する資質向上研究、生涯学習に関する教育活動を実施するため、相互の機能を活用し、連携して教育研究の一層の活性化に寄与することを目的としています。教育学部にとって、岐阜市、高山市、美濃市に続く4件目の市町村との連携協定です。

協定締結後、江馬教育学部長は、「連携協力を深め、教育実習および教職インターンを推進したい」とあいさつしました。



3月

### 岐阜県との包括連携協定に基づく推進会議を開催

岐阜大学と岐阜県は3月30日、昨年3月に締結した協定に基づく連携推進会議を岐阜県庁で開催した。大学からは森秀樹学長をはじめ理事・副学長が、県からは古田肇知事をはじめ西藤公司副知事、松川禮子教育長らが出席。冒頭、古田知事が「率直な意見を出し合い、連携を深めたい」とあいさつ。これに対し森学長は「地域貢献できる人材の養成を最優先に考えている。環境科学、生命科学分野におけるフロントランナーとして活躍していきたい」と応えました。

会議では、大学の「第二期中期目標・中期計画」と県の「長期構想」の概要を確認し、平成21年度の取り組みとして「環境」をテーマとした事業を双方が提案し、協議が整ったものから積極的に取り組んでいくことを合意しました。

連携事業として、本学を含む県内17大学と県が運営する「ネットワーク大学コンソーシアム岐阜」で環境をテーマとした共同授業を実施するほか、学生が政策提案などを行う「学生環境会議」を開催します。

このほか、平成20年4月から本学工学部の高木朗義教授が県庁で勤務するなどの人事交流を引き続き行っていくことを確認しました。

